

## 会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回行田市女性活躍推進ネットワーク会議	
開催日時	令和6年7月17日(水) 開会：午前10時00分・閉会：午前11時15分	
開催場所	行田市男女共同参画推進センター 学習室	
出席者(委員)氏名	岡田恵美委員、松原絵里委員(吉澤篤人委員代理)、根岸桃子委員、早川美恵子委員、中元良成委員、井上文子委員(座長)、高橋晃代委員、宮崎理恵委員、川鍋和史委員、黒澤麻美委員、小林彩可委員(大淵大輔委員代理)、新坂捺月委員(名簿順、敬称略)	
欠席者(委員)氏名	増田久美子委員、石井理央委員、小原正行委員、西田信子委員、坂詰恭子委員、瀬山紀子委員、信末慶子委員	
事務局	野辺博彦(課長)、堀口修司(所長)、吉田裕子(主任)	
会議内容	(1) 行田市女性活躍推進事業実施方針(案)について (2) 令和6年度女性活躍推進事業実施予定(案)について (3) その他	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議次第</li> <li>・ 行田市女性活躍推進ネットワーク会議委員名簿</li> <li>・ 資料1 行田市女性活躍推進事業実施方針(案)</li> <li>・ 資料2 女性活躍推進ネットワークイメージ図</li> <li>・ 資料3 令和5年度事業実施報告書について</li> <li>・ 資料4 令和6年度女性活躍推進事業実施予定(案)</li> <li>・ 資料5 男女共同参画推進事業チェックリスト集計</li> <li>・ 資料6 男女共同参画週間パネル展示実施報告書</li> </ul>	
その他必要事項	傍聴者 1名	
会議録の確定	確定年月日	主宰者記名
	令和6年 月 日	井上 文子

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会。</li> <li>・委員の自己紹介。</li> <li>・配布資料の確認。</li> <li>・本日の会議は、個人情報を取り扱う予定がないことから、原則公開とさせていただく。また、会議録については、委員名を明記の上、市政情報コーナー及び市ホームページにおいて公開させていただく。</li> <li>・本日の傍聴希望者は1名</li> <li>・座長選出（井上文子委員）。</li> <li>・議長選出。</li> <li>・副座長選出（根岸桃子委員）。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議事（1）行田市女性活躍推進事業実施方針（案）についてについて説明を求める。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議事（1）行田市女性活躍推進事業実施方針（案）についてについての説明。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年に女性活躍推進法が制定されて以降、行田市も女性活躍をサポートするため、民間企業と行政の情報交換の場を設け、講座を企画している。本日初めて参加する委員も、この会議がどのような意味を持っているのか共有できることを願う。</li> <li>・事務局からの説明について、意見や質問はあるか。岡田委員いかがか。</li> </ul>
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性料理講座とボイストレーニング講座において、意識啓発のために実施した内容が記載されていない。講座の参加者に何を伝えたかったのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボイストレーニング講座は、意思を伝えることの重要性を啓発す</li> </ul>

<p>岡田委員</p>	<p>るために開催した。面接での自己表現や会議での発言、家庭での会話においても、正確に自分の意思を伝えることは重要であると確認したうえで、相手に伝わりやすい発声方法など、基本的なことを学習した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性料理講座は佐間公民館との共催事業である。昨年度のネットワーク会議で出た意見を踏まえ、女性の参加も受け付けた。もう一つ望まれていた、若い男性の参加もあった。男性料理講座の目的は、料理は女性がやるものという偏見を解決することであり、料理をするきっかけになることを図り、実施している。</li> <li>・次回以降、資料に事業の目的を記載していただきたい。その目的が達成できたか、また、より良くするためにはどのようにすべきかを話し合うのが建設的である。</li> </ul>
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前、男性料理講座の開催意義に疑問を感じたこともあった。しかし、定年退職した夫と住んでいると、男性も自分が食べるもの、せめてお昼くらい料理ができれば、女性活躍に繋がりそうだと実感している。各講座の開催目的を記載し、分かりやすい資料作りをお願いします。それでは高橋委員、意見はあるか。</li> </ul>
<p>高橋委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職支援セミナーは、W e b で 1 0 0 人募集とのことであるが、これは行田市・加須市・羽生市の方限定なのか。昨年度まではハローワーク行田も担当しており、参加者の約 8 割がハローワーク行田からの紹介であった。ハローワーク行田を共催に加えていただければ、チラシの配架だけではなく、窓口や、失業保険の説明会に来た方へ積極的に声掛けができるがいかがか。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職支援セミナーは、3 市共催事業で、ハローワーク行田にも加わっていただいていたと思う。女性キャリアセンターの宮崎委員が来られているので、その辺りの説明をお願いします。</li> </ul>

宮崎委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の就職支援セミナーは、オンラインと対面の両方で開催する予定である。昨年度までは出前セミナーということで、各市町村やハローワークと共催で、対面で開催していた。県内くまなく参加していただくにはオンラインが適していると判断し、今回からオンラインを主流に開催することとした。チラシの配布にご協力いただけるとのことなので、チラシが出来しだいハローワーク行田にも送付する。ぜひハローワーク行田も共催に加わり、積極的にお声かけていただけると幸いである。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただ今の説明は6年度事業実施予定（案）についてであったが、どなたか5年度事業実施報告に対する意見はあるか。</li> </ul>
根岸委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告の資料の作り方だが、講座紹介の写真の後にその講座の感想が記載されていると見やすいと思った。また、その下に記載されている開催日時や講師名などの記載項目を統一していただきたい。</li> <li>・あと、講座の参加費はすべて無料なのか。講師の村山氏は何か肩書きがあるのか、また、どのような縁で講師依頼されたのか伺いたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の作り方については承知した。参加費は、料理講座は材料費相当をいただいている。おおよそ1,000円から1,500円程度であるが、講師と相談して決定している。</li> <li>・料理講座の村山講師は、男女共同参画推進センターに登録されている団体の方である。いろいろな団体の登録があるので、その中で講師を引き受けてくれる方がいればお願いをしている。</li> </ul>
根岸委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師名だけでなく、普段の活動内容や肩書き等があると講師はどんな方なのか想像しやすく分かりやすい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・承知した。</li> </ul>

議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他に意見はあるか。それでは議事（２）令和６年度女性活躍推進事実施予定（案）についてについて説明を求める。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議事（２）令和６年度女性活躍推進事実施予定（案）についてについて説明。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局からの説明に意見や質問はあるか。</li> <li>・では私から一点伝えさせていただく。令和６年１月下旬の意識啓発講座で、メンタルヘルスケアを兼ねたハラスメント講座を提案する。他に開催してほしい講座があれば意見していただきたい。黒沢委員はどうか。</li> </ul>
黒澤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回、男女共同参画推進センターから相談を受け、パパとお弁当づくり講座の講師を紹介した。斎藤氏は市内で子ども食堂を運営している方である。子ども食堂を運営している方の多くは、自分たちの活動を認知してほしいと思っている。子ども食堂という名前から、対象者は子どもだけだとか、また、貧困家庭や、親が仕事で家を不在にする子が行くところと思われるようで、参加者が集まりにくいそうである。子ども食堂は決してそれだけの場所ではなく、居場所として皆さん設置している。特に斎藤氏が代表を務めるコミュニティサロンクリスタルマユは、１軒家で子ども食堂を運営していて、２階で子どもがスタッフと遊んでいる間、親は１階でゆっくりと食事をしてほしいという願いで活動をしている。</li> <li>・ホームページに斎藤氏が作るかわいいお弁当がたくさん紹介されていて、子ども食堂で食べられるようである。</li> <li>・斎藤氏のかわいいお弁当をみなさんが作れるようになると思い紹介させていただいた。私は、市民活動団体の願いをもっと皆さんに伝えたいと思っている。</li> <li>・こんなことできる方はいないかなど要望があれば、一生懸命知恵を絞って紹介したい。それにより市民活動団体の活躍の場も広</li> </ul>

議長	<p>がり、私自身の仕事のやりがいにもなる。よろしく願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な立場の人の話が聞けてとても参考になった。それでは、事業実施予定（案）について、どなたか意見はあるか。</li> </ul>
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料理講座の割合が多いように感じる。参加者が集まりやすい利点はあると思うが、女性が活躍するためには、料理だけではない。先ほど座長からあったように、ハラスメントなどもしっかり学ぶべきだと思う。ハラスメントだけでは、参加者が集まらないとなれば、例えば護身術などを絡めてやってみてはどうか。護身術で身を守る術を学ぶと、得た知識が自信に繋がり、ハラスメントに対応できる心が醸成できるのではないか。関連付けられるもので、違った視点から女性活躍を応援する事業があってもよいのではないか。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松原委員、意見はあるか。</li> </ul>
松原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅ワーカー育成セミナーがオンラインメインで行われるのは、小さい子を育てている方も参加しやすくなりそうだが、オンデマンド配信は予定されないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料には行田市が共催している二種のみ記載しているが、Webセミナーは拡充されている。共催していないものについても、市報等に掲載するので、皆さんに参加していただければと考えている。詳細については、宮崎委員に説明をお願いします。</li> </ul>
宮崎委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅ワーカー育成セミナー入門コースのオンデマンド配信は、契約の都合により困難であるため、同コースを複数回行うことで対応している。ただし、在宅ワーク、就職支援ともに、いくつかオンデマンドセミナーを別途用意しているので、その中から必要なものを随時閲覧できるようにしている。Web開催はスマ</li> </ul>

	<p>ホでも参加可能のため、子どもを抱きながらでも参加できる。女性だけの参加なので、安心感を持って参加いただけるようだ。これからもオンラインが主流になりそうである。今回リニューアルし、オンラインセミナーを増やした件について、行田市は全てのセミナーを市報掲載に図っていただけと伺っている。</p>
松原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉県女性キャリアセンターのホームページにはオンデマンドセミナーがたくさん掲載されており参考にさせていただいている。Web配信もありがたく思っている。</li> <li>・昨年度の就職支援セミナーで行われた面接会にファイブイズホームも参加したが、参加企業としてはいろいろと難しい面もあることと思うが、その後の動向が気になるところだ。3ヶ月後、6か月後にアンケート調査を行い、その後の状況を収集することで、講座の改善に生かせるのではないか。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その後の情報は把握しているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・していない。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中元委員、6年度計画について意見はあるか。</li> </ul>
中元委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パパとお弁当づくり講座は良いイベントだと思うが、対象が小学生の保護者なのが気になる。小学生は給食がメインで、園児はお弁当のことが多い。お弁当づくりを夫婦で協力できるように、対象を小学生の保護者から変更できないか。早い段階で意識改革ができれば、男性もお弁当づくりなどができるようになり、女性活躍にも繋がっていくのではないか。先ほど話題に上がった、オンデマンド配信も検討していただきたい。スマホで見られたとしても、子どもが騒ぐと中断せざるを得ないため、随時閲覧可能な形式が最適だと思う。</li> </ul>

議長	・対象を変更することは可能か。
事務局	・親子一緒に作ることが目的だが、子どもは何歳からが良いか。
根岸委員	・パパだけでも良いのではないか。
中元委員	・親が受講中に、子どもの面倒を見てくれると気楽に講座に参加できるのではないか。
議長	・3歳ぐらいであれば、出来上がったものをお弁当箱に入れることはできるので、親が作っているのを見ているのも良いのではないか。
事務局	・保育については、対応可能である。
議長	・料理を作る間、子どもはプレイルームで遊び、出来上がる頃戻ってきてお弁当箱に詰めるのはどうか。
事務局	・内容については検討させていただく。
議長	・川鍋委員意見はあるか。
川鍋委員	<p>・実施予定（案）について、3点の意見がある。1点目は、おそうじ講座についてである。花王グループは掃除用具に限らず、幅広い家庭の日用品を作っている会社である。特に、洗濯用洗剤などを作っている会社のため、洗濯も含めて講義していただくのが良いのではないか。8月下旬開催なので、夏服の手入れ等、適した洗剤や洗濯方法の講義があると、より関心を持てると思う。</p> <p>・2点目は、就職支援セミナーの説明にある、『「感じの良さ」はスキルです』は、まさにその通りだということ。実際に面接だけではなく、書類を作る時点から必要なスキルである。採用する立場</p>

議長	<p>からすると、よりわかりやすく丁寧であることが意外とポイントとなるため、伝えていただきたい。求職者の皆さんは家庭との両立を中心に考えているようで、職場の応募基準で最多なのは、勤務時間と勤務日数である。数多ある応募先から選んでいるので、できればその機会を有効に、採用に結びつけていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3点目は、講座を実施する日時についてである。今年度の予定は、9月まではすべて土曜日実施になっている。土曜日が出勤の職種は意外とあるので、幅広い職種の方から参加いただけるよう、日曜日に実施するのを検討していただきたい。</li> <li>・おそうじ講座に洗濯も取り入れ、幅広くできるようにお願いします。早川委員、計画等に対する意見はあるか。</li> </ul>
早川委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私はこのような企画があることを初めて知った。とても良い企画で、話を聞いて良かった。仕事を引退した高齢者でも受講者の子どもを見ているとか、ちょっとしたお手伝いができればと感じた。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性が活躍するのは職場に限られたことではないので、地域活動などにより、高齢者でも活躍できることを願う。小林委員いかがか。</li> </ul>
小林委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性料理講座で、若い方に参加してもらうために、男飯や流行り物をメニューにするのはどうか。あとは、私自身、子守を祖父母に頼むこともあるので、孫育てのような講座があっても良いと思う。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男飯とはどんなものか。</li> </ul>
小林委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単に作れるものであり、例えば丼物系である。</li> </ul>

議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良いと思う。新坂委員、意見はあるか。</li> </ul>
新坂委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識啓発講座であれば、ハラスメントやメンタルヘルスも良いと思う。あと、マタニティ関係のものがあっても良いと思う。例えば、子育てする前のパパママを対象にした子育て講座はどうか。「行田市で子育てしていくにあたって」などのテーマでも良いと思う。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他に意見はありますか。</li> </ul>
根岸委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3点の意見がある。はじめに、男性料理講座でご飯を作るのも良いが、キッチンに立ち、2人で会話する機会を増やすためにも、お茶を学ぶのはどうか。日本茶や紅茶、中国茶の違いや、淹れ方一つで味も香りも変わるもののため興味も沸き参加しやすいと思う。</li> <li>・次に、講座を設けるにあたり、SDGsカードゲームは大変意義があるものだと思っている。料理をきっかけに集まっていただけ、そこで普段学ばないことを伝えるのが一番の目的だと思う。ボイトレ講座の時にはカードゲームをしていなくてようだが、せっかくたくさんの方に集まっていただけだから、少しでも男女共同に関する学びを持つ機会にしていただければと思った。</li> <li>・最後に、意識啓発講座について、子ども食堂は興味深く思う。私も埼玉県の子ども食堂のまとめ役の方の話を聞かせていただいたことがある。黒澤委員の言うとおりに、貧困目的だけではなく、さまざまな目的をもって実施されていると伺った。運営団体も増えていますし、このような場で少しでも子ども食堂のことを知っていただく機会があれば、応援する人も増え、野菜の寄付などいろいろなことに繋がればと思う。また、子育て講座についてもいいと思いますが、加えて不妊治療や、養子縁組などの講義あってもいいと思う。子どもに対する悩みでは子育てだけではな</li> </ul>

議長	<p>い。行田市で取り組んでいる不妊治療助成事業や、熊谷市にある鮫島クリニックでの養子縁組への取り組みなど範囲を広げてみてはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な方面から意見をいただき、ありがたく思う。事務局には検討をお願いします。他に意見がなければ、議事（３）その他について事務局に説明を求める。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・１点目は、資料５男女共同参画推進事業チェックリストの集計である。これは、昨年度の２月に行われたネットワーク会議で実施した、事務局に対する評価のアンケートであり、出席者の１３名に回答いただいた。内容については記載の通りである。貴重な意見に感謝する。今後も意見を反映させていただきたいと思う。</li> <li>・２点目は、資料６男女共同参画週間パネル展示実施報告書についてである。毎年、男女共同参画週間にあたる６月２３日から２９日に、埼玉県人権・男女共同参画推進課の貸出用パネルを展示している。今回は防災をテーマにした「“わたし”の防災対策」のパネルと、男女共同参画関連の本・DVDの展示をした。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料６の写真だが、同じ人物しか写っていないので工夫していただきたい。その他について何か意見あるか。無いようであれば、本日の議事を終了とする。これを以て議長の職を解かせていただく。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重な意見を賜り、改善していきたいと考えているので、今後ともよろしくをお願いします。第２回ネットワーク会議については、詳細が決まり次第開催通知を郵送する。以上を以て、第１回行田市女性活躍推進ネットワーク会議を閉会する。</li> </ul> <p>●閉会</p>

